



子どもの森づくり通信

(発行:NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2015年11月号)

〒144-0054 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもちました方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年もあと一月となりました。

皆様には、どの様な一年となりましたでしょうか。

おかげ様で、JP子どもの森づくり運動は今年も充実した一年となりました。

「終わりよければ・・・」ですので、残りの日々を緊張感を持って務めたいと思います。

(目次)

1. 「全国集会&研修会2016」参加園募集のご案内
 2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
 3. 事務局からのお知らせ
- 新・どんぐり博士の育苗講座(2015年11月号)～苗の冬越しについて～

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. 「全国集会&研修会2016」参加園募集のご案内

JP子どもの森づくり運動の参加園が集う、「全国集会&研修会2016」のご案内です。今回は三重県での開催となります。テーマは三つ。①これから持続可能な未来を生きていかねばならない幼少期・幼児期子どもたちに“環境心”を育む「環境学習」活動について②大きな災害が近い未来に予想される今日、『本当に子どもたちを助ける防災、危機管理』について③さらに、今、社会的な要請が高まる公益法人の地域貢献活動の現状と方法についても学び、協議したいと思います。年に一度の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



●開催概要

- ・主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- ・幹事園：社会福祉法人法輪会「ほうりん保育園」（三重県）
- ・協力：全国私立保育園連盟 大谷保育協会 保育環境研究所ギビングツリー 他
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・日程：2016年2月23日（火）、24日（水）
- ・会場：三重県鈴鹿市白子「ホテルグリーンパーク鈴鹿」（近鉄「白子駅」西口より徒歩15分）
- ・参加費：15,000円（研修費、1泊朝食付宿泊費、懇親会費、保険料含む）
- ・募集人数：50名程度（最低催行人数：25名）＊催行定員に満たない際は開催中止となる場合があります。
- ・募集対象：幼稚園・保育園職員、保育関係団体職員、保育研究者、学生、他
- ・募集締切：2016年2月5日（金）

●実施スケジュール（変更あり）

2月23日（火）

- 12:30 集合
- 13:00 開会式
- 13:10 **基調講演①「21世紀を生きていく子どもたちに」**
講師：NPO法人 C・C・C 富良野自然塾
副塾長 林原博光氏
- 14:20 **基調講演②「多様な森林の持続的な保全のために」**
講師：筑波大学 生命環境系 教授 津村義彦氏
- 15:30 幼児期の環境学習活動について
「森育」プログラム、及び環境学習活動事例発表
- 17:10 公益法人に求められる地域公益活動について
 - ①問題提起
講師：三和新琴似保育園 菊地秀一園長
 - ②意見交換会
コーディネーター：青い鳥保育園 岡村斉園長
- 19:00 懇親会

2月24日（水）

- 8:30 **基調講演「あの日のわたしたちのこと」**
岩手県山田町 震災語り部 昆 尚人氏
- 9:30 **防災講座「本当に子どもたちの命を守るために」**
講師：タフジャパン 代表 鎌田修広氏
- 12:00 振り返り
- 12:30 終了、解散
- ＊オプション講座：“どんぐり”の苗木植樹体験



2015年大分研修会風景

＊開催の詳細、参加のお申込み方法については、ホームページにて案内中です。 <http://www.kodomo-mori.net>

2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

■ 神奈川県「みんなのとっぽ保育園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月18日（月）・会場：自園・日本郵政グループ参加者：橋本郵便局 石渡務局長

何時も日本全国からのどんぐり送り見させて頂いてます。どんだんこの輪が広がって行くといいですね。私たちもいつか実際のどんぐりの苗がどのくらい成長したか見に行きたいものです。これからもよろしくお願ひします。ありがとうございます。他園に比べると大々的ではありませんが“どんぐり”を送る気持ちは皆同じだと思います。今後ともよろしくお願ひします。（園からのお便り）

みんなのとっぽ保育園 どんぐり送り

平成27年 5月 18日



■ 京都府「たかつかさ保育園」東北の“どんぐり”を見送る会

・日時：2015年5月16日（土）・会場：自園

苗木を植えたおたよりありがとうございました。子ども達に伝えると喜んでいました。遅くなりましたが、園での取り組みを送らせていただきます。先日 新しいどんぐりが届き、震災時の写真を見ながら、子ども達に様子を伝えました。船が陸に打ち上げられた写真を数枚掲示して、保護者の方にも子どもの森づくり運動の取り組みを紹介しました。苗木になったものは、玄関正面に置いて大事に育てています。苗木を送る会は、5月16日に年長児「ぞう組」で行いました。2年前に届いて育った苗木を見せて、東北に返して植えることを伝えました。苗木が倒れないように新聞紙に包んで「大きくなーれ」と声をかけながら、段ボールに詰めました。その後、震災の写真集を見せました。震災時は家もなくなり、がれきの山になっていた町が花が植えられ、きれいに整備されてきて、漁も再開されている様子を伝えました。「今はどうなったの」「なんで家は建っていないの」等関心を寄せて質問もたくさんしていました、地元の方は頑張っているけどまだまだ復興途中であることを子ども達に話しました。園庭で遊びをしていると、郵便車がきました、段ボール箱を渡し「よろしくお願ひします」といいました。車が見えなくなるまで「ばいばーい」「げんきでねー」と手を振って見送っていました。後日、子ども達とどんぐりの木が大きくなって、いっぱいどんぐりの実をつけてくれるように折り紙を折ってお手紙にしました。（園からのお便り）



みんなのメッセージ



大きくなった苗木



げんきでねー



ばいばーい

3. 事務局からのお知らせ

1) JP子どもの森づくり運動「エコプロダクツ2015」出展のご案内



JP子どもの森づくり運動では、今年も国内最大の環境展「エコプロダクツ2015」に出展し、今年の活動報告を実施します。毎年のことながら、今年は特に盛りだくさん。メインステージでの活動発表も行われます。出展ブースが事務局スタッフと参加園の皆様との情報交換と交流の場となればと願っております。是非、ご来場下さい。以下、出展の概要です。

出展場所 (ブースNO)	出展内容	出展 (実施) 日時
①NPOブース (東4-N15)	JP子どもの森づくり運動活動レポート	12/10 (木) ~12/12 (土) 10:00~18:00 (最終日は17:00まで)
②森からはじまるエコライフ展 (東4-F41)	東北復興グリーンウェイブ活動レポート * 最終日14:00~「♪どんぐりえがお」ダンス 大会開催予定	12/10 (木) ~12/12 (土) 10:00~18:00 (最終日は17:00まで)
③メインステージ (東3-902)	東北復興グリーンウェイブデモンストレーション * 東北の“どんぐり”手渡し会、他	12/12 (土) 11:30~12:15
④日本郵政グループ(東6-010)	グループの環境活動紹介 手紙を書くワークショップの開催	12/10 (木) ~12/12 (土) 10:00~18:00 (最終日は17:00まで) ※ワークショップは16:30まで

* 入場手続きについては、エコプロダクツ公式ホームページをご参照下さい。⇒<http://eco-pro.com/2015/>

2) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」更新のお知らせ

「子森チャンネル」の2015年秋編がアップされました。今秋の“どんぐり”拾いの活動風景が紹介されています。

⇒<https://www.youtube.com/watch?v=Ox78K1P2ZK8>

* ホームページからの視聴方法：子どもの森づくり運動ホームページTOP ⇒左上「子森チャンネル&通信」⇒子森チャンネル

●新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年11月号) ~苗の冬越しについて~

冬本番を迎えます。そんな中、どんぐりの苗木も冬支度を進めています。

寒い冬を越すための“どんぐり”の苗に起こる変化と、冬の間の苗管理について今回は記します。

どんぐり博士：河内和男 (「子森ネット」森林インストラクター)



ここ数回繰り返し述べてきましたが、どんぐりの樹の多くは冬に葉を落とす落葉樹です。まるで枯れてしまったような姿ですが、これも寒い冬を乗り切るための工夫です。ですから、始めて苗の冬越しを経験する皆さん、葉が全て落ちてもし心配ご無用です。ここでは、葉を落として冬越しの準備ができた苗木の中ではどんな変化が起きているのでしょうか。気温が下がり、日差しも弱くなると、葉で作る栄養が足りなくなります。そこで、栄養を作ること (光合成) を止めて葉を落とし、エネルギーを消費しないように生命活動を休止します。ただ、休眠しているだけでは冬の寒さに無防備なので、休眠に入る前に樹液の糖度を高めて、樹液が凍結しないようにしています。以上から冬の苗管理では、水やりの必要は無いことが分かります。次に寒さ対策ですが、苗自身樹液を濃くして凍結防止に努めていますが、生長した木と違ってあの細さですので、寒冷地の極端な冷え込みは避けたいです。そこで、北日本及び標高の高い地域では、放射冷却を防ぐため、屋根がせり出ている所等の軒下などに置くと良いです。雪対策にも成ります。

最後に水やりを再開する時期です。根は地上部分より早く活動を再開します。九州・四国などの暖かい地方では2月中旬から、それ以外の西日本では3月くらいからになります。初めのうちは、土が乾いていたら水を与える程度から再開してください。